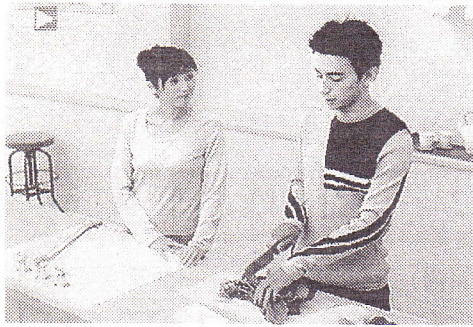




サンヨー食品の「サッポロ一番」のCMで妻のために料理する夫

「じゃ、アレね」
最初のセリフは夫ではなく、仕事から帰宅した妻の言葉だ。すると夫の保坂尚輝さんは妻の高岡早紀さんのためにインスタントラーメンを作り始め、「野菜とんなきゃね」と言いながら野菜を刻む。野菜との相性の良さがこの商品の特徴であるが、それを夫の言葉にすることで、新しい夫婦像を感じさせている。食べ

妻が迎え、料理をする場面はよく見慣れている。だが、その役割を入れ替えたのがサンヨー食品「サッポロ一番」みそラーメンのCM。
「ただいま、おなかへコペコ」
「お帰り。何か作ろうか？」
「じゃ、アレね」
最初のセリフは夫ではなく、仕事から帰宅した妻の言葉だ。すると夫の保坂尚輝さんは妻の高岡早紀さんのためにインスタントラーメンを作り始め、「野菜とんなきゃね」と言いながら野菜を刻む。野菜との相性の良さがこの商品の特徴であるが、それを夫の言葉にすることで、新しい夫婦像を感じさせている。食べ

従来の決まりきった男女の役割分担が、CMの世界でなくなりつつある。男女の価値観の変化を映したもので、料理をする夫や洗濯する男性、金融商品に詳しい妻などを自然に描いている。「時代を映す鏡」であるCMを通して役割分担の現状をのぞいた。

夫が料理や洗濯

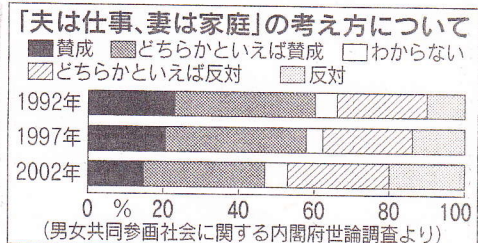
男女の役割、CMで変化

「男も家事」自然に

価値観変化、現実より進む?

せている。同社広報宣伝部の福井尚基課長は「共働き夫婦が多い今の時代、このようにお互い助け合っている姿は自然な形。だから、視聴者からも共感を得やすい」と話す。

▽ ▼ ▼
洗剤のCMはこれまではからの意見が多数寄せら



ている。同行は「最近では資産運用や住宅ローンの知識に詳しい女性も増えている」とCMの設定について説明する。

「コマーシャルの中の男女役割を問いただす会」世話人の小川真知子さんによると、働く女性を応援しつつ弱い男性と対比させ、逆転した男女関係をコミカルに描いたCMが登場したのは、男女雇用機会均等法が施行された。企業のCMで男女の固定化された役割が見直されつつあるなか、公的広報を男女共同参画の視点から見直そうとする自治体が増えている。内閣府も今年三月に、国として初めて男女共同参画の視点から「公的広報の手引」を作成した。

お母さんが主役とされていた。そこに男性だけが登場するのが、P&Gの新しい洗剤「ボールド」のCM。

「お母さんが主役とされていた。そこに男性だけが登場するのが、P&Gの新しい洗剤「ボールド」のCM。」

た一九八〇年代半ば。それが「二〇四、五年は対等な関係から、家事をする男性が登場、最近はその傾向が顕著になっている」。

「CMに女性の視点が生かされるようになったことが大きい」と話している。多くのCM制作の現場に携わる電通の兼崎知子さんは、「八〇年代の現場は男社会だったが、九〇年代後半になって企業や制作会社で経験を積んだ女性が増え、現場で発言力を持つようになった」と分析する。

ただ、CMの方が現実よりも先行していることは否めないようだ。CMに出てくる男性は家事に理解を示すが、二〇〇一年の総務省の社会生活基本調査では、共働き夫婦の一日の家事時間は、妻が四時間八分なのに対して夫はわずか二十八分にとどまっている。

こうした現状を踏まえ、関根代表は「『サッポロ一番』のCMに登場しているような夫婦像が、より身近で一般的なものになるまでには、もう少しばかり時間がかかるかもしれない」と冷静にみている。

める夫は、妻に「おいしい」と言われて満足げな顔だ。これまでこのシリーズでは夫が自分で作って自分で食べていたが、今回は逆に妻に食べさせ

める夫は、妻に「おいしい」と言われて満足げな顔だ。これまでこのシリーズでは夫が自分で作って自分で食べていたが、今回は逆に妻に食べさせ

める夫は、妻に「おいしい」と言われて満足げな顔だ。これまでこのシリーズでは夫が自分で作って自分で食べていたが、今回は逆に妻に食べさせ

める夫は、妻に「おいしい」と言われて満足げな顔だ。これまでこのシリーズでは夫が自分で作って自分で食べていたが、今回は逆に妻に食べさせ

める夫は、妻に「おいしい」と言われて満足げな顔だ。これまでこのシリーズでは夫が自分で作って自分で食べていたが、今回は逆に妻に食べさせ

める夫は、妻に「おいしい」と言われて満足げな顔だ。これまでこのシリーズでは夫が自分で作って自分で食べていたが、今回は逆に妻に食べさせ

める夫は、妻に「おいしい」と言われて満足げな顔だ。これまでこのシリーズでは夫が自分で作って自分で食べていたが、今回は逆に妻に食べさせ

める夫は、妻に「おいしい」と言われて満足げな顔だ。これまでこのシリーズでは夫が自分で作って自分で食べていたが、今回は逆に妻に食べさせ

める夫は、妻に「おいしい」と言われて満足げな顔だ。これまでこのシリーズでは夫が自分で作って自分で食べていたが、今回は逆に妻に食べさせ

める夫は、妻に「おいしい」と言われて満足げな顔だ。これまでこのシリーズでは夫が自分で作って自分で食べていたが、今回は逆に妻に食べさせ

める夫は、妻に「おいしい」と言われて満足げな顔だ。これまでこのシリーズでは夫が自分で作って自分で食べていたが、今回は逆に妻に食べさせ

める夫は、妻に「おいしい」と言われて満足げな顔だ。これまでこのシリーズでは夫が自分で作って自分で食べていたが、今回は逆に妻に食べさせ

める夫は、妻に「おいしい」と言われて満足げな顔だ。これまでこのシリーズでは夫が自分で作って自分で食べていたが、今回は逆に妻に食べさせ